

凡 例

- 一 本書は、延岡市制施行八十周年記念事業の一つとして計画されたもので、一卷にまとめて編さんした。
- 一 本書は、第一編から第七編までとし、それに一〇年間の年表を付した。
- 一 本書は、延岡市制施行七十周年記念事業として「延岡市史（平成十五年刊）」が刊行されているので、主にその後の一〇年間の歩みを内容としてまとめた。
- 一 本書は、原則として、編・章・節・項・小項目によって構成した。
- 一 編の区切りを分かりやすくするため、各編のページに表題と写真を付した。
- 一 文体は、なるべく平易な口語文とするように努め、人名には原則として敬称を付けないことにした。
- 一 写真や図表等をできるだけ多く載せるようにした。

- 一 常用漢字・現代仮名づかいを原則としたが、固有名詞・学術用語等については例外とした。
- 一 分かりにくい用語には、できるだけ注釈を付けて理解しやすくした。
- 一 年代は日本年号で表し、西暦を（ ）内に示した。
- 一 分担して執筆したので、できるだけ内容等が重複しないように調整した。

延岡市史

目次

口絵

発刊のことば

凡例

延岡市長 首藤正治

第一編 延岡の自然と歴史

第一章 延岡市の自然環境 3

第一節 位置及び自然環境 3

第二節 気象 6

一 延岡市の気象概観 6

第二章 延岡の歴史 9

第一節 延岡の歴史の概観 9

第二節 遺跡の発掘調査 13

一 延岡城内遺跡 14

二 上多々良遺跡 15

三 家田古墳群・家田城跡 22

四 黒仁田遺跡 27
五 海舞寺遺跡 30

第三章 神話…………… 33

第一節 神話…………… 33

一 神々の系譜 33
二 神話と地名 35

第二編 行財政の進展

第一章 市政の歩み…………… 47

第一節 人口と世帯…………… 47

一 人口と世帯数の推移 47
二 年齢別人口構成 50
三 人口動態 55

四 就業人口 56
五 外国人人口 58

第二節 戸籍・住民登録…………… 59

一 戸籍 59
二 住民登録 60
三 住民基本台帳ネットワークシステム 61

第三節 歴代市長…………… 62

一 第二十三代市長 櫻井哲雄 62
二 第二十四・二十五代市長 首藤正治 64

第四節 名誉市民等…………… 71

一 延岡市名誉市民 71
二 旧三町の名誉町民 73

第五節 市民栄誉賞等…………… 75

一	延岡市民栄誉賞	75
二	旧三町の町民栄誉賞	77
第六節	市庁舎建設	78
第七節	市町村合併	79
第八節	地域コミュニティ	81
一	自治会(区)制度	81
二	市政連絡員	82
三	市民協働のまちづくり	83
四	広報・広聴	86
第九節	国際交流	87
一	ハローワールド国際交流	87
二	国際交流員の配置	88
三	市民国際交流	88
第十節	姉妹都市・兄弟都市等	91
一	姉妹都市	91
二	兄弟都市	93
三	友好都市	95
第十一節	大学を活かしたまちづくり	98
第十二節	人権	100
一	人権啓発の推進	100
二	本市の人権・同和行政	101
第十三節	男女共同参画社会	102
一	男女共同参画の推進	102
二	配偶者からの暴力などの相談事業	103
第二章	市制記念	104
第一節	市制施行八十周年記念	104
一	記念行事及び記念事業	104
二	延岡市歌追詞	106
三	記念式典	107

第三章 執行機関……………114

第一節 市長、副市長及び収入役等……………114

一 市長 114 二 助役・副市長 114 三 収入役 115 四 固定資産評価員 115

第二節 事務機構……………116

一 事務機構の主な変遷 116 二 事務機構図 118

第三節 行政委員会……………121

一 教育委員会 121 二 選挙管理委員会 124 三 公平委員会 126

四 監査委員 127 五 農業委員会 128 六 固定資産評価審査委員会 130

第四節 諮問機関……………131

第五節 消 防……………132

一 消防本部及び消防署 132 二 消防団 133 三 消防庁舎 134 四 消防施設 136

五 予防活動 138 六 災害活動 139 七 宮崎県防災救急航空センター 142

八 緊急消防援助隊 143

第六節 延岡市土地開発公社……………145

一 用地取得事業 145 二 用地処分事業 146 三 受託事業 147 四 組織 148

第四章 長期計画……………149

第一節 延岡市長期総合計画……………149

一 主要指標 150 二 第五次長期総合計画 150

第二節	新生のべおかプロジェクト	156
一	メイン・プロジェクト	156
二	ベース・プロジェクト	158
第三節	延岡市行財政改革	160
一	第四次行政改革	161
二	第五次行財政改革	162
三	第六次行財政改革	162
第五章	広域行政	163
第一節	宮崎県北定住自立圏構想	163
第二節	宮崎県北部広域行政事務組合	165
第三節	宮崎県北地方拠点都市地域	166
第四節	東九州・九州中央・県境地域との連携・交流促進	168
一	東九州軸地方都市圏連携推進協議会	168
二	九州中央地域連携推進協議会	169
三	大分・宮崎県境地域開発促進協議会	171
第六章	財 政	172
第一節	地方財政の変遷	172
第二節	市財政のすう勢	174
第三節	特別会計	180
第四節	市 債	184
第五節	市有財産	186
第六節	市 税	191

一	市税制の変遷	191
二	一般会計に占める市税の状況	191
三	市税負担の状況と税目別の収入状況	192
四	納税組合	194
	第七節 金融機関の指定	195
	第七章 国民保護	196
一	国民保護計画	196
二	全国瞬時警報システム	197
	第八章 防 災	198
一	地域防災計画	198
二	防災体制	199
一	防災行政無線	199
二	災害備蓄品	200
三	災害ボランティア登録団体	201
四	自主防災組織	203
五	災害応援協定	205
六	災害情報メール	206
三	災 害	207
一	風水害	207
二	地震災害	211
	第九章 議決機関（市議会）	219
一	市議会の構成	219
二	市議会の運営	220
一	定例会と臨時会	220
二	本会議と委員会	220
三	協議または調整を行う場	227
四	議員定数削減への取り組み	229
五	会派（交渉団体）	231

第三節	議員と正副議長	232
一	市議会議員	236
二	歴代市議会議長	238
三	歴代市議会副議長	238
第四節	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会	240
第五節	議会事務局	240
第十章	選挙	241
第一節	選挙人名簿登録者の推移	241
第二節	各種選挙	242
一	市長選挙	243
二	市議会議員選挙	243
三	宮崎県知事選挙	244
四	宮崎県議会議員選挙	245
五	衆議院議員選挙	247
六	参議院議員選挙	249
第十一章	生活安全	251
第一節	延岡警察署管内の交番・駐在所	251
一	刑法犯及び覚せい剤犯罪の状況	251
二	交通事故と車両保有台数	253
第二節	安全な暮らしづくり	255
一	防犯	255
二	消費生活	256
第十二章	情報通信・報道	257
第一節	情報通信産業の現況	257
一	郵便	257
二	情報通信	259
三	テレビ放送	260
第二節	情報通信基盤の整備	261

一	地域の情報化	261
二	行政の情報化	263
三	情報基幹都市の推進	264
第三節	郷土の報道機関	265
一	(株)夕刊デイリー新聞社	265
二	(株)ケーブルメディアアワイワイ	266

第十三章	運輸	268
------	----	-----

第一節	広域交通網の概況	268
-----	----------	-----

一	鉄道	268
二	高千穂鉄道	272
三	バス	273
四	港湾	275

第三編 生活環境の整備

第一章	都市整備	281
-----	------	-----

第一節	道路	281
-----	----	-----

一	高速道	282
二	国道	291
三	県道	292
四	市道	294
五	橋(橋りょう)	296

第二節	河川	300
-----	----	-----

一	河川の状況	300
---	-------	-----

第三節	港湾の整備	305
-----	-------	-----

第四節	都市計画	307
-----	------	-----

一	都市計画区域	307
二	都市計画道路	308
三	都市計画公園	312

四	景観形成の取り組み	316
---	-----------	-----

第五節	住居表示	317
第六節	区画整理	317
一	土地区画整理事業	317
第七節	建築	320
一	建築指導行政	320
二	住宅建設の状況	322
第二章	医療・保健	325
第一節	地域医療の充実	325
一	地域医療を守る取り組みの推進	327
二	健康長寿の推進	328
第二節	保健対策の充実	329
一	母子保健	329
二	疾病予防対策	332
三	こころの健康	335
四	施設の活用と整備	336
第三節	医療体制の充実	337
一	医療体制	337
二	救急医療体制	339
三	医療関係の施設等	341
第四節	延岡市斎場「いのちの杜」	346
第五節	市営墓地	350
第六節	狂犬病予防	350
第三章	水道事業	352
第一節	水道事業の現況と課題	352
一	現況と課題	352

第二節	配水管整備事業	354
第三節	浄水方法の変更	356
第四節	水道料金の改定	356
第五節	簡易水道	358
一	旧延岡市の簡易水道	358
二	北方地区の簡易水道	359
三	北浦地区の簡易水道	360
四	北川地区の簡易水道	360
第六節	良質な「天下一の水」	361
第四章	下水道事業	362
第一節	下水道事業の概要	362
第二節	公共下水道事業	365
一	公共下水道事業の整備状況	365
二	公共下水道事業の実績	367
三	公共下水道事業の計画	369
第三節	集落排水事業	372
第四節	市設置型浄化槽事業	374
第五章	清掃事業	375
第一節	ごみ処理事業	376
一	ごみ収集運搬・持ち込みの状況	376
二	ごみ処理の状況（中間処理及び最終処分）	378
三	ごみ処理有料化とリサイクルの推進	385

第二節	し尿処理事業	387
第六章	環境保全	388
第一節	自然環境の保全	390
一	生物の生息状況の把握及び保護・啓発	390
第二節	公害防止と生活環境の保全	391
一	大気環境の保全	394
二	水環境の保全	398
三	地下水・土壌・地盤環境の保全	400
四	その他の環境保全	401
第三節	地球環境保全の取り組み	402
一	温室効果ガスの削減	402
第四節	環境保全意識の高揚	403
一	市民と協働した環境保全活動	403
第七章	エネルギー	406
第一節	エネルギーの現況	406
第二節	延岡市の主なエネルギーの使用状況	408
一	電力	408
二	都市ガス	410
三	液化石油ガス	411
第三節	省資源・省エネルギーの動向	413
一	省資源・省エネ・環境保全活動	415

第四編 社会福祉

第一章	社会福祉事業	421
第一節	社会福祉の動向	421
第二節	行政機構の整備	422
第三節	生活保護	423
一	生活保護の現況と課題	423
第四節	子どもの福祉	427
一	子育て支援の環境づくり	428
二	子育て支援の施策	433
三	ひとり親家庭等への支援	435
四	要保護児童対策	443
五	障がいのある子どもへの支援	443
第五節	高齢者福祉	447
第六節	介護保険	450
一	保険者及び被保険者	450
二	保険料	451
三	要介護認定	452
四	介護給付費	452
五	介護支援専門員(ケアマネージャー)	453
六	介護保険サービス	453
第七節	介護保険制度以外の高齢者福祉サービス	458
一	生活支援事業	458
二	家族介護支援事業	461
三	介護予防事業	463
四	社会参加・生きがいづくり事業	466
五	施設福祉事業	470
六	権利擁護事業	470

	七	総合相談事業	471
	第八節	障がい者の福祉	473
	一	障がい者の状況	473
	二	障がい者の福祉サービス	476
	三	社会参加等の支援	479
	第九節	民生委員・児童委員	486
	一	民生委員・児童委員及び主任児童委員	486
	第十節	戦傷病者・戦没者遺族等の援護	489
	一	遺族等援護施策	489
	二	遺族・戦傷病者の取り組み等	492
	第十一節	民間の福祉事業	494
	一	延岡市社会福祉協議会	494
	二	財団法人延岡市高齢者福祉協会	499
	三	赤十字業務	502
	第二章	国民健康保険	504
	第一節	国民健康保険制度	504
	第二節	後期高齢者医療制度	508
	第三章	国民年金	510
	第一節	国民年金制度	510
	第四章	労働	513
	第一節	労働組合	513
	第二節	職業紹介	516

第五編 教育と文化の振興

第一章 教育行政……………526

第一節 教育委員会……………526

一 教育委員会機構……………526

二 教育費の推移……………526

三 歴代教育委員……………527

第二章 学校教育……………528

第一節 学校施設の整備……………528

一 施設の整備充実と課題……………528

二 主要な施設整備の成果……………528

第二節 学校教育の現状……………531

一 学校教育の動向……………531

二 児童生徒数の推移……………534

三 学力向上の取り組み……………535

四 生徒指導の充実……………538

五 中学生の進路……………540

六 人権・同和教育……………542

七 財団法人延岡市育英会……………543

第三節 学校保健……………544

一 児童生徒・教職員の健康管理……………544

二 児童生徒の体位……………545

三 延岡市学校保健会歴代会長……………548

四 学校保健教育功労全国表彰者……………548

第四節 学校等一覧……………549

一 幼稚園……………549

二 小学校……………551

三 中学校……………553

四 高等学校……………555

五 特別支援学校……………565

六 大学……………570

七 専修学校・各種学校……………572

第三章 社会教育……………575

第一節 社会教育近年の歩み……………575

第二節 社会教育の推進体制……………576

一 社会教育に関する諮問機関および支援機関……………576

二 少年団体指導員……………577

三 市立図書館……………582

四 青少年育成センター……………589

五 教育集会所……………590

六 一ヶ岡コミュニティセンター……………591

七 リバーパル五ヶ瀬川……………592

一 生涯学習の推進……………596

二 青少年教育……………601

三 家庭教育……………602

四 成人教育……………607

五 人権・同和教育……………607

六 自治公民館関係……………618

七 社会教育団体の活動……………618

一 生涯学習の推進……………618

二 青少年教育……………620

三 家庭教育……………620

四 成人教育……………622

一 延岡総合文化センター……………618

二 野口記念館……………620

三 内藤記念館……………620

四 西郷隆盛宿陣跡資料館……………622

五 カルチャープラザのべおか……………622

第二節 文化施設……………618

一 指定文化財……………611

二 文化財愛護・啓発活動……………616

三 内藤家文書による明治大学との交流……………618

第四章 文化……………611

第一節 文化財……………611

一 指定文化財……………611

二 文化財愛護・啓発活動……………616

三 内藤家文書による明治大学との交流……………618

文化施設……………618

一 延岡総合文化センター……………618

二 野口記念館……………620

三 内藤記念館……………620

四 西郷隆盛宿陣跡資料館……………622

五 カルチャープラザのべおか……………622

第三節	文化功勞者	622
一	県文化功勞者（延岡市関係）	622
二	市文化功勞者	623
第四節	文化活動	625
一	文化活動の動き	625
二	のべおか天下一薪能	626
三	延岡城築城四百年記念祭	627
四	文化団体の活動	627
五	郷土の先賢等の顕彰活動	631
六	郷土史学習団体	632
第五章	スポーツ	634
第一節	アスリートタウンのべおか	634
一	アスリートタウンづくり	635
二	スポーツによる健康づくり・体力づくり	635
第二節	スポーツ施設の整備	637
一	スポーツ施設の整備状況	637
第三節	スポーツ界での活躍	638
一	スポーツ界での主な出来事	638
第四節	体育功勞者	640
一	文部科学省および宮崎県表彰者	640
二	延岡市および体育協会表彰者	642
三	県高等学校体育連盟表彰者	646
第五節	スポーツ界の現況	650
一	スポーツ記録	650
二	オリンピック・パラリンピック出場者	652
三	世界選手権大会等出場者	653

第六編 産業経済の振興

第一章 産業経済全般の概況 661

第一節 日本経済の状況 661

第二節 延岡地域経済の状況 663

第三節 延岡市の産業構造の変化 666

第四節 産業経済の振興 669

第二章 農業 671

第一節 農業全般の概況 671

第二節 農業の現況 677

一 農業生産の主な動向 677

二 食育・地産地消 682

三 農業法人・集落営農・営農集団 682

第三節 畜産業の現況 683

一 生産状況等 683

二 畜産環境問題 686

第四節 農業生産環境の整備 688

一 基幹的農道の整備 688

二 ほ場整備 689

三 土地改良施設整備 689

四 農村環境整備 690

五 優良農地の確保等 692

六 地籍調査事業 694

第五節 農業団体の動き 695

一 JA延岡(延岡農業協同組合) 695

二 農業共済組合 695

三 土地改良区 696

第三章 林業	697
第一節 森林・林業全般の概況	697
第二節 林業経営の現況	698
第三節 林業生産基盤の整備	699
一 林道・作業路	699
二 流通・加工施設	700
三 入会林野の整備	700
四 森林組合の動き	701
第四節 特用林産物の現況	702
第五節 森林保護の推進	703
第四章 水産業	708
第一節 水産業全般の概況	708
第二節 海面漁業経営の現況	709
第三節 漁業環境の整備・振興	711
一 漁港の整備	711
二 沿岸漁場の整備	713
三 栽培漁業	715
第四節 生産体制の確立	716
一 漁業経営の安定化	716
二 水産加工業の振興	716
第五節 内水面漁業の振興	717
第六節 漁業協同組合の動き	718
第五章 工業	722

第一節	工業全般の概況	722
第二節	延岡鉄工団地協同組合の動き	724
第三節	延岡の工業支援機関	725
一	宮崎県機械技術振興協会	725
二	宮崎県機械技術センター	726
第四節	工業振興の展開	727
一	「延岡市工業振興ビジョン」の策定	728
二	「延岡市メディカルタウン構想」の策定	730
三	企業誘致・工業用地整備の動き	732
四	中小企業への支援	733
五	技術の交流	734
第五節	工業関係諸表	736
第六章	建設業	740
第一節	建設産業全般の概況	740
一	産業構造上の特徴	740
二	建設業の構成	741
第二節	建設業の現況	743
一	建築関係の現況	743
二	建設業関連の主な事業	744
第三節	建設業協会の動き	746
第四節	建設業関係諸表	746
第七章	商業	748
第一節	商業全般の概況	748
第二節	商業の現況	750

第三節	商業振興の展開	752
一	「延岡市商業振興ビジョン」の策定・推進	752
二	延岡市タウン・マネジメント構想（TMO構想）	752
三	「延岡駅周辺整備基本計画」の策定・推進	753
四	資金融資制度の充実	755
五	中小企業振興の施設等	756
六	地場産業の振興	757
第四節	延岡商工会議所の動き	758
第八章	観 光	762
第一節	観光全般の概況	762
第二節	観光動向の現況	764
第三節	観光資源・施設の現況	766
第四節	観光行事	773
第五節	関連するイベント・行事	775
第六節	観光振興の展開	779
一	「延岡市観光振興ビジョン」の策定・推進	779
第七節	観光協会の動き	780
第九章	金 融	781
第一節	金融全般の概況	781
第二節	延岡市の金融機関	785

第十章 旭化成と関連・協力企業 788

第一節 旭化成株式会社 788

- 一 旭化成の歩み 788
- 二 旭化成の概要 791
- 三 旭化成の労使関係 802
- 四 旭化成延岡支社 804
- 五 延岡支社の概要 806

第二節 旭化成協力会 810

- 一 旭化成協力会の発足と発展 810
- 二 一〇年間の主な活動 811

第三節 旭有機材工業株式会社 814

- 一 事業の発展 814
- 二 業績の推移 815
- 三 組織改正と今後の事業展開 816

四 会社概要 817

第四節 センコー株式会社 818

- 一 事業の発展と業績の推移 818
- 二 今後の事業展開 819
- 三 延岡支店の概要 820

四 センコービジネスサポート(株)の概要 820

第五節 清本鐵工株式会社 821

- 一 事業の推移と展開 821
- 二 今後の事業展開 822
- 三 会社概要 823

第七編 市内の官公庁

一 国の機関 827
二 県の機関 835

延岡市年表 845

主な参考文献・写真提供 884

あとがき 888

